会報：第５５号：平成１８年８月１日発行

奈良・人と自然の会

＜わたしたちは大和の自然を愛します＞

中国からの手紙　Ⅲ

川井　秀夫

越境環境問題について幾つか見てきましたが、中国の国内について検証して見ます。

現在の政治体制の中で報道規制が厳しく、我々の耳目に全体像が見えにくい面がありますが、経済発展と共に、社会的な歪みが現出し、曾ての日本の５０年代～６０年代に経験した幾つかの共通項が見受けられます。

1　公害の多発

2005年11月。吉林省の化学工場が爆発し、ベンゼン100トンが東北部の松花江に流出。ロシア領ウスリー江を汚染、解氷期にはオホーツク海から北海道東部の沿岸にまで被害が及ぶと言う。重慶では長江支流の化学肥料工場の排水管が破損、硫酸600トンが流出。更には湖南省 湘江に精練工場の汚水が流出。イタイイタイ病のカドミウムの濃度が安全基準の10倍に達する。また、広東省では潅漑用水の20%が水銀に汚染されていると言う

エネルギーの60%を占める石炭の影響も少なくない。石炭を燃やすことで発生する球状灰粒子、化石燃料から出る鉛、大気汚染と共に酸性雨による河川・湖沼の汚染は90%に及び生活水の不足、肺疾患による健康被害が増え続けている。

「中国にとって必要な教訓は水俣と三池である」と言われる所以である。

2　ダム建設の環境破壊

広大な国土に３万を超える大型ダムが建設され、今なお１３０の建設が進められている。「南水北調」の国家的巨大プロジェクトである。

今、チベットを源に雲南省を抜け、ミャンマーからインド洋へ流れる『怒江』で、三峡ダムを上回る規模の建設が計画されている。03'年世界遺産に登録された直後に発表されたもので、環境市民団体NGOが猛反対してをり去就が注目されている。

「遺伝子の宝庫」と言われる秘境であり、豊かな自然と代償に雇用と税収による貧困対策と、どちらを選択するのか対応が究極を迎えている。読者はどちらを支持しますか••。

3　中国社会の断面

総括すれば、中国における政治的・社会的な盲点を幾つか指摘できるが、最大の問題点は沿海地域（爆発的な都市化）と内陸地域（農村社会の疲弊）との経済格差が浮き彫りになってくる。

０４’年 平均年収（1元 14円）可処分所得

上海	１７，０００元		
福建省都市部	１１，０００元	農村部	４，０００元
雲南省農村部	１，８００元	ロンミエ村	７００元

☆詳記することを憚るがロンミエ村では肉を食べるのが一年に一度、生活の為に赤ちゃんの人身売買が恒常化している。「ロンミエの悲劇」と言われる。

紙数が尽きました。これらの問題は中国の政治体制が続く限り解決は難しいかも。日本の国際協力が不可欠。「靖国」ばかりを言わないで。

第14回近畿自然歩道・まほろばの路

生駒山眺望の路

岩田　利秋

コース案内を見ると、生駒山を越えて石切駅へ下山するとのこと。これは難コースかと予測して集合地の生駒駅へ向かう。天候にも恵まれ、南田原・出店バス停に下車すると甲高いケリの声とツバメが飛来する。早速、境さんより、コース概要、マップの説明があって出発する。南西の方角に生駒山のアンテナ群を眺望しつつ天の川沿いに田園地帯を歩く。

早速、古川さんより畦道に咲く「ウツボグサ」(紫色・花穂が矢を入れる靫に似ている)を教えて頂きつつ「喜里が池」へと向かう。ツマグロキチョウ、ホタルガが飛び交う中、弓場さんより蝶と蛾の違いについて説明して頂く。森も近づきウグイス、ホトトギスの声に耳を傾けつつ池に着くとアオサギをしばし観察する。

クワの実を見つけ舌鼓をうちつつ山麓公園めざして、緩やかな坂を登っていく。公園には温泉、スポーツ施設があるためマイカーが増加する。

やがて、展望が開け整備された山麓公園に着く。奈良方面の展望もすばらしい。

木陰で姫ヤシャブシ、ウラジロノキ、ネジキを観察しながらの昼食とする。

ノイチゴを摘みつつ信貴・生駒スカイラインを越えて大阪府へ一歩踏み入れ、縦走路へと入る。テングチョウが乱舞している。縦走路には植物名も整備され手入れの行き届いた遊歩路で平日ながら多くの人達と出会う。大阪方面の眺望も絶好。古川さんの樹木説明で印象に残るのは、ゴンズイ(何の役にも立たない)、ヤマコウバシ(揮発性の臭い)、ニセアカシア、タツナミソウ(落葉しない)、ウワミズザクラ(焼酎に漬けると美味)、楽しい解説でした。

ヤマボウシと生駒山頂に別れを告げて、「ぬかた園地」路の急坂を下りて興法寺へと向かう。鳥居を潜って境内へ。スズランを観察したあと、境さんより本尊の「歓喜天」は男女和合の神さまで、密教で本尊は夜中に油で洗われる。扉に描かれている二股大根と巾着マークはそのシンボルだと解説して頂く。

ヤマホタルブクロに迎えられながら、辻子谷(ズシタニ)を下る。やがて、薬の臭いがすると製薬工場があって復元水車に出会う。この一帯は、豊富な水を利用した水車で漢方薬づくりが盛んだったようです。

10キロの行程を無事踏破して石切駅に到着したが、出発前には難コースを予測していたが、苦もなく生駒山を越えていました。観察路として眺望の良い、収穫の多いコースでした。

準備してただいた境さんに感謝とお礼の挨拶をして解散しました。ところが、全員揃って生駒駅へ。引き続く懇親会が歴史講座となり、ＩＴ講座となり有意義な楽しいひと時となりました。シニアウォーキングはやはりグループウォーキングが健康と元気の源だと確認して再会を約して帰路につきました。

第１４回近畿自然歩道・まほろばの路　報告

担当　境　　寛

本番　　6月21日（水）

参加者（敬称略）

弓場厚次　岩田利秋　川井秀夫　福谷岑子　古川祐司　吉村さつき　志水明子

林令子　　境寛　　　以上９名

天候　晴れ　　　　　全行程　約10ｋｍ

近鉄生駒駅　北口バス停集合　9時25分　　バス乗車　9時35分

とりシリーズ

オオヨシキリ

小田　久美子

同じ仲間なのに優雅に鳴くウグイスと違って「ギョギョシ、ギョギョシ、キチキチキチ！」とかしましくオオヨシキリの声がします。暑～い日差しと抜けるような青い空と葦原をイメージして夏が来たことを実感させます。その啼き方から「行々子」と呼ばれ、俳句の夏の季語ですよ礼川井会長。雄が先に渡って来て縄張りを巡回する時に啼き、一夫多妻（羨ましい？）のヨシキリさんは、お室様伺いの時も、若君がお生まれになった時もその部屋々を巡回する道すがら一層けたたましく啼かなければいけません。自分のけたたましさを棚にあげて、他のけたたましい声にはとても敏感に反応し追い払いに来ます。けたたましく八月いっぱい啼き続けてモズ君にバトンタッ（？）して南に去って行きます。カッコウとの攻防はこの夏どうなるのでしょうか。

地域情報

★7月9日夕方7時ごろヒグラシが鳴きました。夏ですねえ。去年の記録はないですが一昨年は10日ヒグラシが鳴きました。

・自宅の西のある貝吹山につづく山並みや南側の樹木の多い平地から多い時は10種余に及ぶ鳥の声がします。一日で。ウグイス　シジュウカラ　コゲラ　キジバト　ヒヨドリ　コジュケイ　キジハクセキレイ　ハシブトガラス　メジロ　ホトトギス　ツバメ　スズメイカル・・・。ときにはぎゃあ　ぎゃあと鳴きながら飛ぶアオサギも。夜に多分ゴイサギと思われる鳥が鳴いて通り過ぎることもあります。毎日鳥の声を聴くのが楽しみです。もうそろそろホトトギスも山奥に帰る頃でしょうか。あの賑やかな声がひっそりとして寂しくなりました。

・10日　京都御所の宗像神社のアオバズクに会いに行ってきました。つがいでいましたがまだ子供は見当たりませんでした。あのくりっとした目お腹の茶と白の模様がしっかりと見えました。

・9日畑でトラクターを使って耕していたら耕したあとをちょこちょことついて歩く鳥をみたらムクドリでした。それまでいなかったのにトラクターの音が聞こえたのかなとおかしくなりました。　（齋藤和）

★　6/17～7月　平城旧跡、レンカクが（迷鳥、夏羽）1羽いました。　（小田）

★［斑鳩］7月11日民家の巣の横にツバメが尾羽と燕尾を曲げて足と3点確保のようにしっかりと支えていました。写真を撮りました。こんな止まり方をするのでしょうか？

・13日イソヒヨドリの番を見ました。メスは初めてでした。どこかで巣を作っているのでしょうか？

竜田川のガーちゃん（マガモ雑♀）が卵を産んでいました。次の日にはそこは水につかっていました。卵もありませんでした。

・　19日増水した竜田川にコガモのペアがいました。カメラを取って来た時にはもういませんでした。

三室山のウバユリが咲き始めました。今年は管理が悪くササ・クサギ・ヨウシュヤマゴボウ・クスが生い茂り花が確認できたのは80本ほどでした。　（勝田）

自然俳句欄

生駒嶺のありがたき風夏至燦々　　川井　秀夫

まほろばシリーズ「生駒山を眺望する路」

遠望する生駒山は視点を変えるとまた風情がある。

季節はずれのさわやかな風。夏至の日長を風と遊ぶ。

行事案内

名札・フィールドノート持参下さい。

【奈良忍辱山森林整備作業】

〈場　所〉　奈良忍辱山国有林　（淀川、木津川、白砂川の源流域）

（忍辱山円成寺駐車場）より徒歩１０分

〈集合場所〉　国道３６９号線

忍辱山円成寺駐車場（バス停　円成寺口と忍辱山円成寺の中間）

〈日　時〉　８月　６日（日）　９時２０分　第５３回

８月２２日（火）　１０時２０分　第５４回

９月　３日（日）　９時２０分　第５５回

９月２１日（木）　１０時２０分　第５６回

（終了予定）　午後３時頃

【天　候】　午前６時　奈良県北西部に警報が出されている場合は中止いたします

〈交　通〉　奈良交通バス

平日　［梅の郷月ケ瀬温泉行き］

土・日・祝　［柳生行き］

	ＪＲ奈良駅⑥番乗り場	近鉄奈良駅④番乗り場	忍辱山円成寺
日祝	８：２６	８：２９	９：０２
平日	９：３０	９：３３	１０：０６

臨時バス　お問い合わせ　奈良交通　☎０７４２（２０）３１００

〈持ち物〉　ヘルメット（防災用）、手袋、スパッツ、鋸、防護眼鏡、弁当、飲み物

ヘルメット、防護眼鏡、鋸等の用具は当会にて多少は用意しております

《未経験者には基本より指導いたしますのでお気軽に。森林を楽しみましょう。》

作業をしなくても結構です。自然観察を楽しんで下さい。待ってます。

〈連絡先〉　弓場厚次

阿部和生

寺田正博

【行事報告】

6月25日（日） 曇 後雨

（参加者）中畑、竹本（V）、小森、大石、川井、弓場、寺田。7名

7月4日（火） 晴

（参加者）守口京子（初）、中畑、竹本（V）、明石、弓場、寺田。6名

［語源豆知識］ スギ 杉 Cryptomeriam japonica

日本の「木の文化」の主役は杉であった。かっては杉に被われていた日本。弥生時代に、割ればそのまま有用な材となる杉と出会った我々の祖先は、やがて板屋根、和船、桶樽と杉板の文化を開花させ、生活を豊にしていった。杉は早く成長して長寿の大木にになる。また真っすぐに伸びる。「スクスクと生ふる木」また「スクスクと立つ木」としている意味。（大言海）。漢字「杉」は細い葉が密生している木という意味で、漢音サンの頭音Sに同調して木の形状をスク（直）なるものと、とらえた和語スギでしょう（語源辞典 東京堂出版）

古名マキ、〔漢名〕倭木、杉はコウヨウザンのことである。変種にヤワラスギ（葉が柔らかくてさされない。ムレスギ（幹が根元から分かれて傾いて立っている。がある。（牧野新日本植物図鑑）

＜9月の予定＞

第16回近畿自然歩道・まほろばの路

［コース名］ *高見山を越える路*

［日　　程］ *9月14日〈木〉*

［担　　当］ 岩田 利秋

9月例会 *「巨勢の路・風の森」*

［日 程］ *9月25日(月)*

［担 当］ 川井 秀夫(

＊ 詳細は会報第５６号＜９月号＞でお知らせします。

協力活動「いこま棚田クラブ」８月９月活動日 ご案内

活動日…８・６（日），８・１４（月）、８・２０(日)、8・28（月）

８月２０日は、作業終了後、地元の方とご一緒「バーベキュー」の予定

9・3（日）、9・11（月）、9・17（日）、9・25（月）

“棚田は、あなたを待っています！”

集合場所：近鉄生駒駅下車 南口側ケーブル駅西隣セブンイレブン前

集合時間：9時 現地までタクシー他 分乗で移動。持ち物：飲み物、弁当、作業スタイル

事務局 ：大寺道代 1

平成18年7月定例幹事会報告

平成１８年７月４日(火)　奈良県女性センターにて、出席者　幹事11名

議　事　　**「報告事項」**

①会員数—９０名、会費未納の方　早急に振り込みください。

市民生活共同組合ならコープ：18年度も助成金が決定した。

②６月度例会　「宇陀・伊那佐山」　６月４日(日)　参加者—１１名（詳細：会報）

③近畿自然歩道・まほろばの路「生駒山眺望の路」６月 21日(水)好天に恵まれた。参加者９名、テングチョウが多く見られた。カブトエビの増えている様等観察した。

④忍辱山森林整備作業　６月６日(火)8名、奈良管理事務所より職員２名来訪、25日(日)参加７名降雨のため午前中にて中止した。

⑤いこま棚田クラブ…6月 11日…生駒市子ども会　18日…都島エコクラブ　来訪。

京都大学　「加藤　真　研究室」に協力、ツチアケビの観察　成果を挙げた。

「討議事項」　（１）７月～９月度予定の確認

例　　会　：　7月 26日(水)「天神山・与喜山暖帯林」　（古川）

9月 25日（月）「巨勢の路・風の森」　（川井）

まほろばの路：7月６日(木)　「くろんど池を訪ねる路」　（大寺）

9月 14日(木)「高見山を越える路」　（岩田）

森林整備作業：7月４日(火)、７月 29日(土)。　8月６日(日)、8月 22日(火)

9月３日（日)、9月 21日（木)

（２）環境フェア出展時準備　　7月 29日実施　出展参加する。担当・小嶺。

（３）その他

◇「黒髪山キャンプフィールド」の担当は、境　とし、各行事の担当は、次回決定する。

◇入会申込書の作成（弓場)。各幹事　用紙、手持ちあり必要の方連絡ください。

◇　**例会、まほろばの路、など感想文の依頼を止める。** 自主投稿とする。

◇　11月例会の「曽爾高原一泊研修」早急に日時を決定し　宿泊を確保する。

原稿待っています

☆　今後例会等の行事の感想文は、参加者の自主的な投稿に委ねることにしました。どうか奮って投稿ください。

★　みなさんの身近な自然や生き物のようす、環境について気がついたことなど…………

★　短報（はがきで1,2行位でも）からA4サイズ位まで。カットや写真なども送って下さい。

★　**毎月20日が締め切りです。下記「編集担当」まで。〒かメールでお願いします。**

編集担当　：勝田　均

Tel＆Fax

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長　川井　秀夫